

# 感震ブレーカー(ki感震センサー) の設置方法について

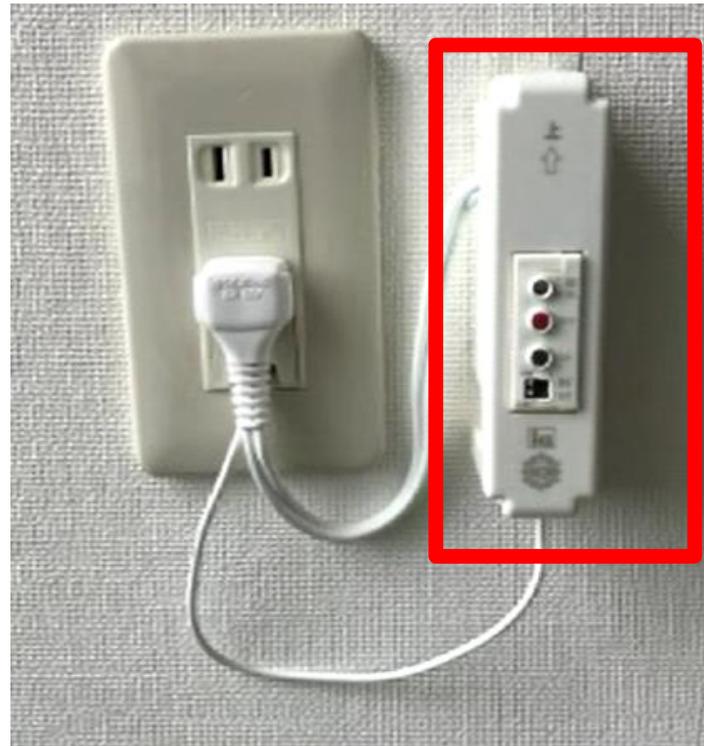


# 感震ブレーカーとは

震度5強以上の強い揺れを感知すると、3分後に擬似漏電を発生させ、分電盤の漏電ブレーカーを作動させて電力供給を遮断する装置。

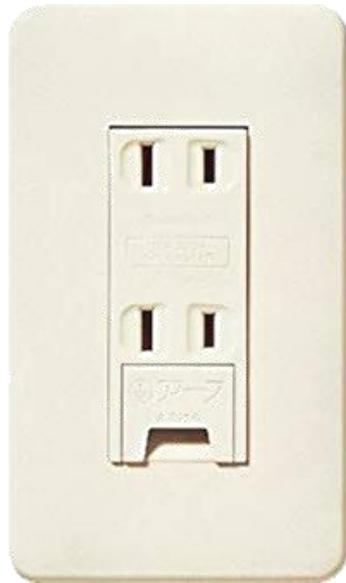
地震が起きた時や、電気が復旧した時の電気火災の発生抑制に効果がある。

ご自宅のアース付又は3端子のコンセントに設置



感震ブレーカー

アース付又は3端子タイプの  
「コンセント」に取付



アース付コンセント



3端子コンセント

# アース付のコンセントへの取付例

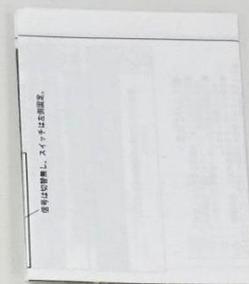


# 用意する物



**ドライバー 2本**  
**(※カバー取り外し用 1本でも可)**

# 箱の中に入っている物



①取扱説明書



③ネジ (2本)

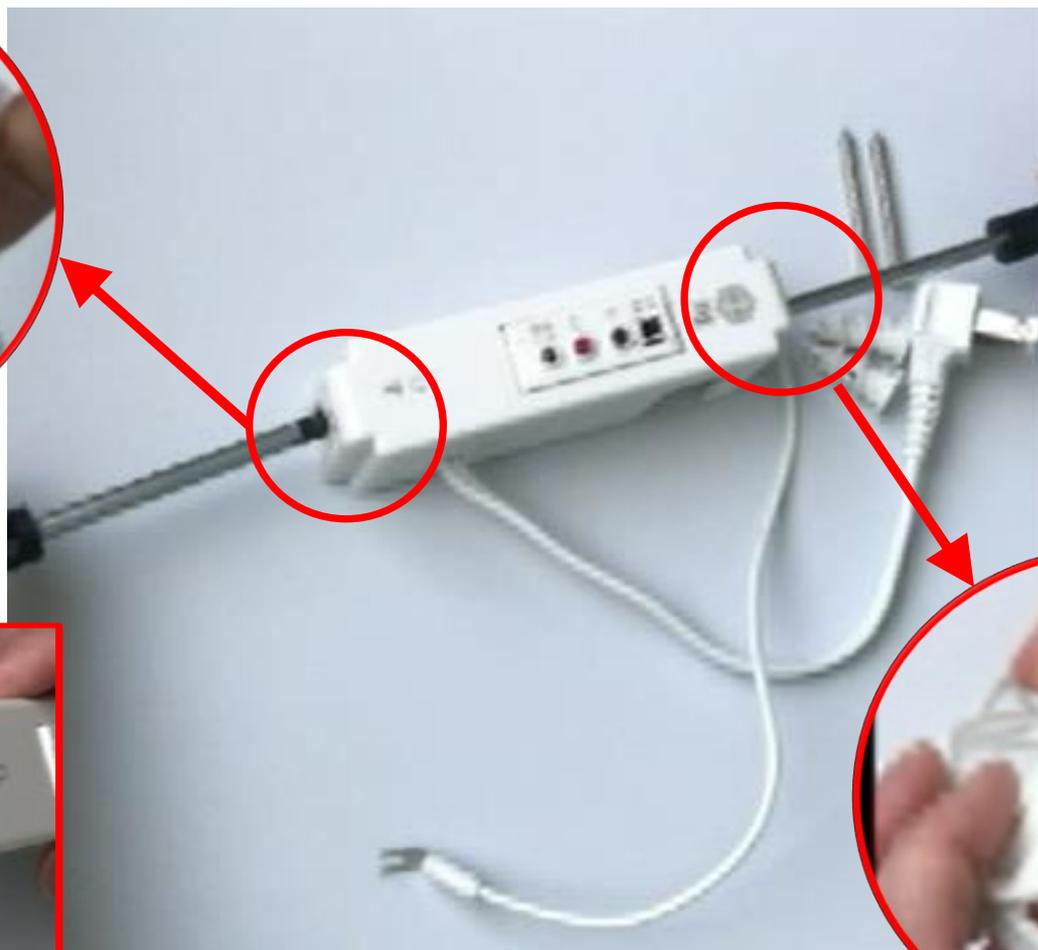
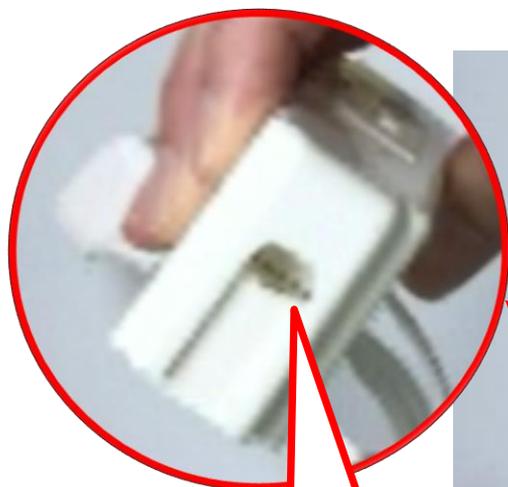


④石膏ボード用  
アンカー (2本)

①感震ブレーカー本体  
(ki 感震センサー本体)

# 1. 本体のカバーを外す

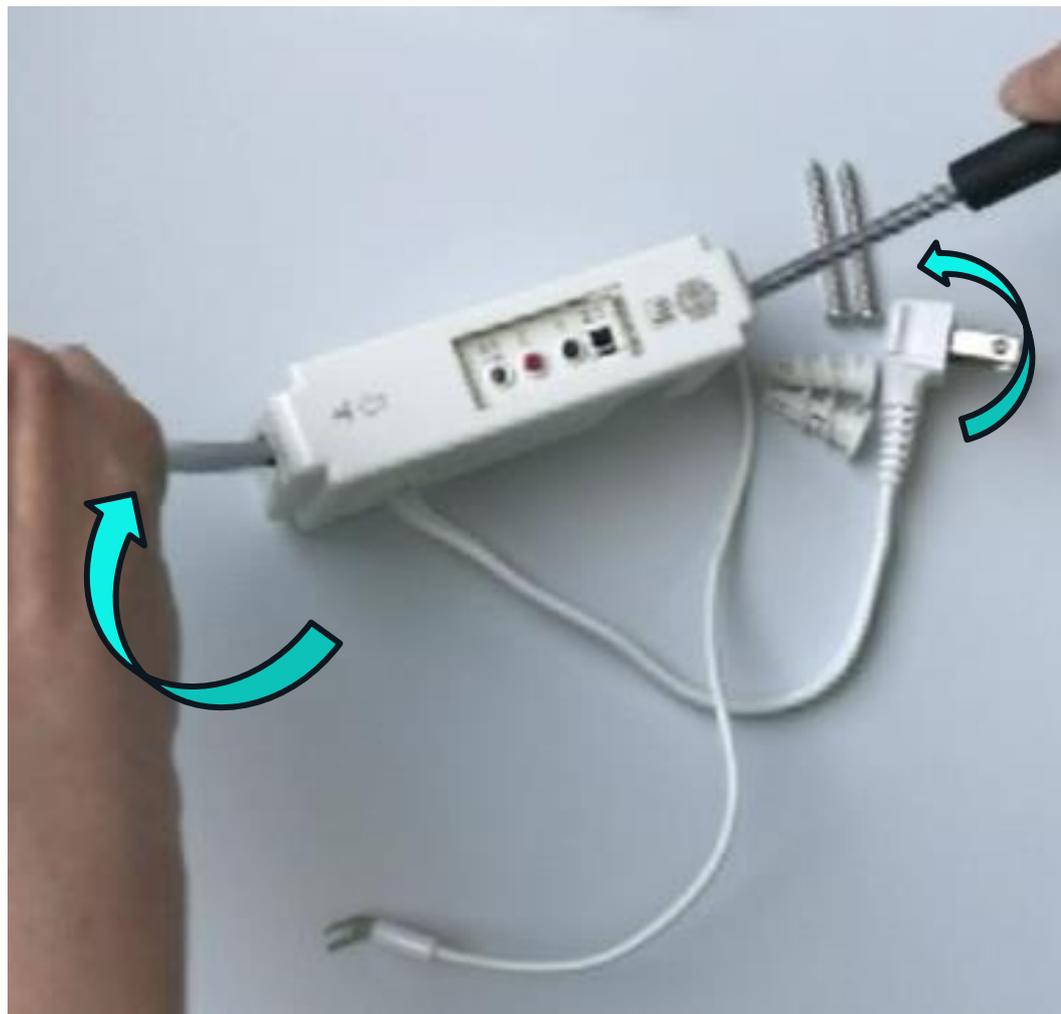
## ① 両側の隙間にドライバーを差し込む



隙間に、ドライバーの先端を差し込む

# 1. 本体のカバーを外す

## ② ドライバーの先端を使って、カバーの留め金を外す



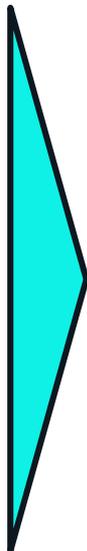
# 1.本体のカバーを外す

## ③カバー全体を取り外す



## 2.設置位置を確認して、取り付ける

### ①本体の設置位置を決める

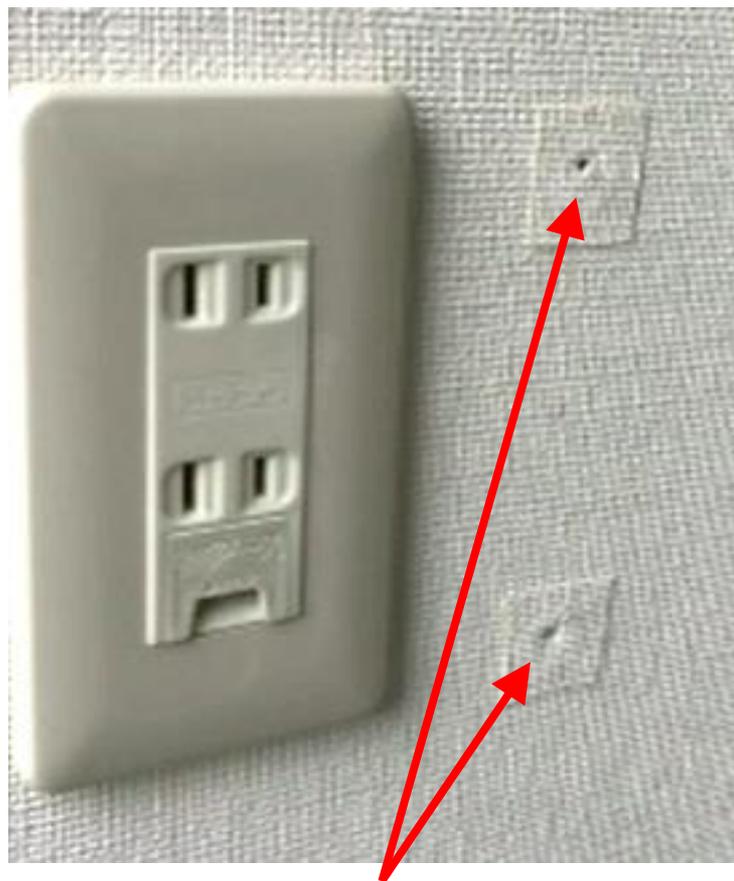


コードの長さを考慮し、  
設置位置を決める

ネジで設置位置の印  
をつける（上下共）

## 2.設置位置を確認して、本体を取り付ける

### ②石膏ボード用アンカーを埋め込む



石膏ボード用アンカー  
埋め込み位置

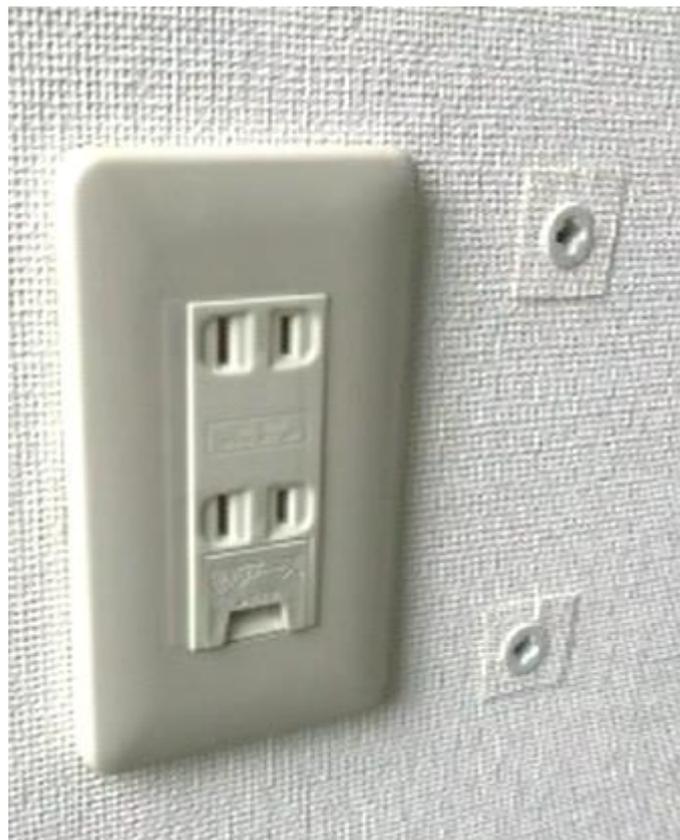


石膏ボード用アンカー（白色太ネジ）  
をドライバーで壁に埋め込む

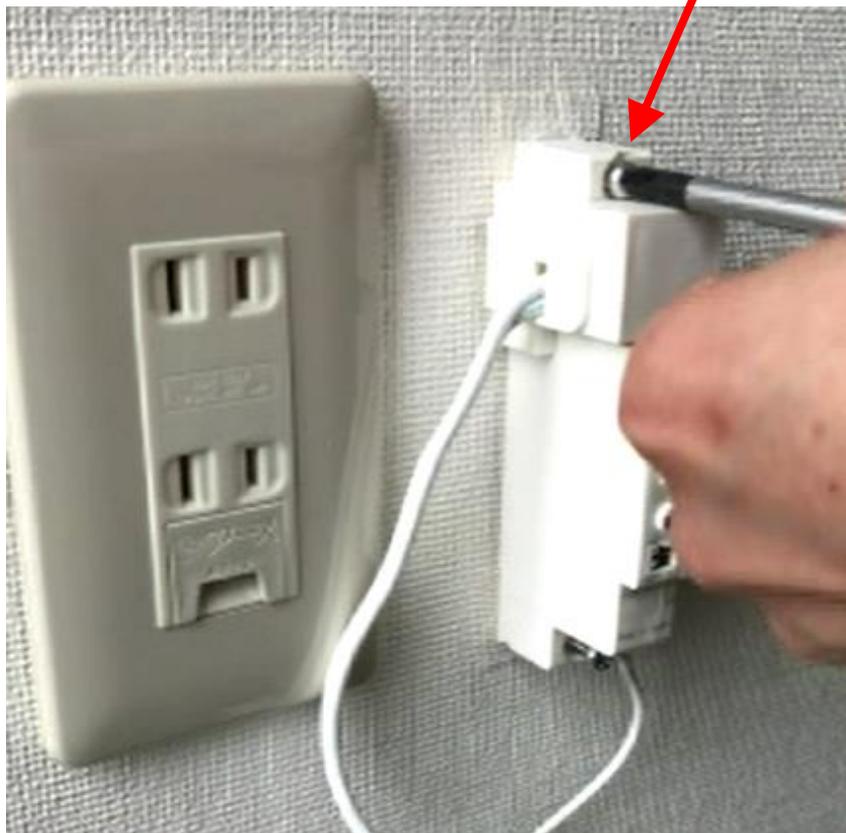
## 2.設置位置を確認して、本体を取り付ける

### ③ネジを埋め込む

石膏ボード用アンカー  
の上にネジを埋め込む



石膏ボード用アンカー（白色太ネジ）  
埋め込み後



本体をネジで  
壁に取り付ける（上下共）

# 3.アース線を取り付ける

## ①アースを取り付ける準備



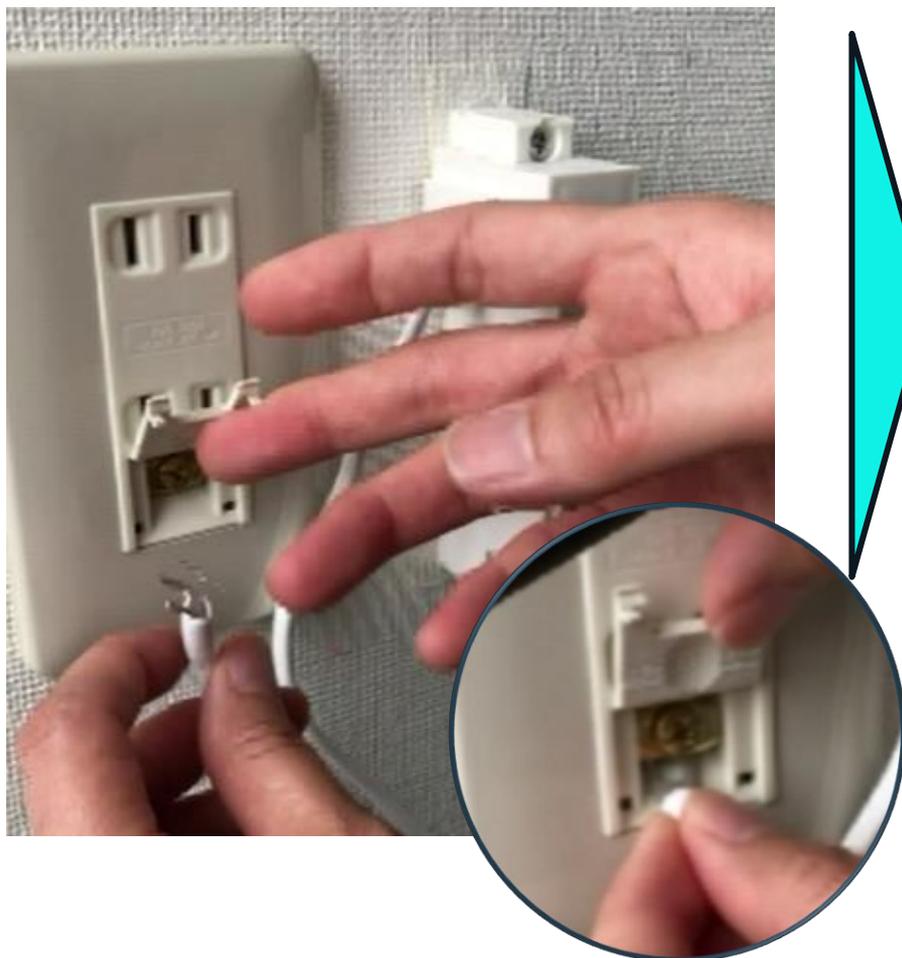
アースのカバーを開ける



アースのネジを緩める

# 3.アース線を取り付ける

## ②アース線を取り付ける



アース線を差し込む



ドライバーでアースの  
ネジを締める

# 3.アース線を取り付ける

## ③アース線の取り付け完了



アースのカバーを閉じる

# 4.コンセントを差す

## コンセントを差しこむ



# 5.カバーを付ける

カバーを本体に被せる



# 5.カバーを付ける

取付完了

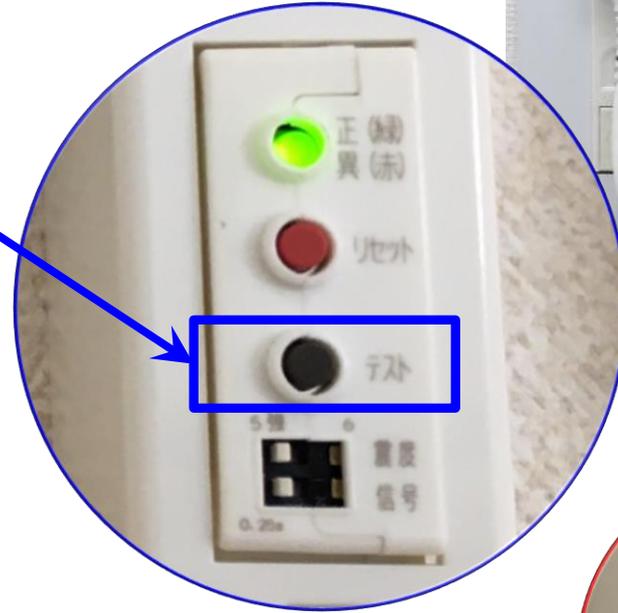


# 可動テスト

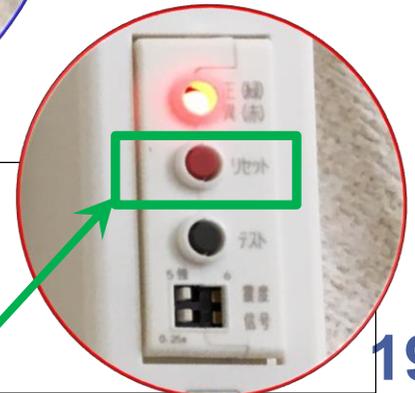
## 1. 「k i 感震センサー」が作動するか確認

- ① 「テスト」ボタンを2秒以上長押し  
▶ すぐに漏電ブレーカーを遮断

「テスト」ボタンを押す



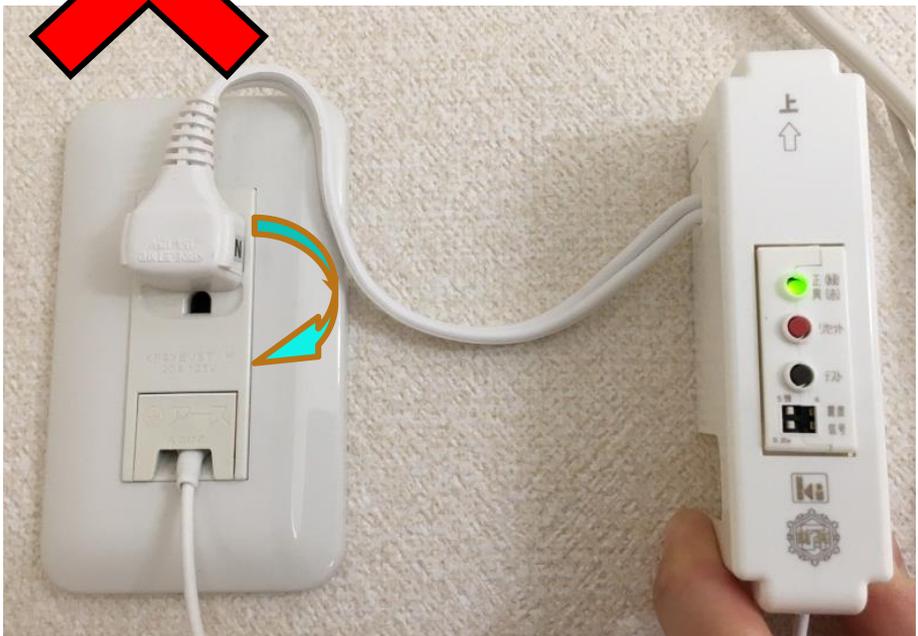
- ・ 2秒未満短押しの場合、  
LEDが赤色点滅する 漏電ブレーカーは不動作  
⇒ 「リセット」ボタンで正常状態に戻る



# 可動テスト【注意事項】



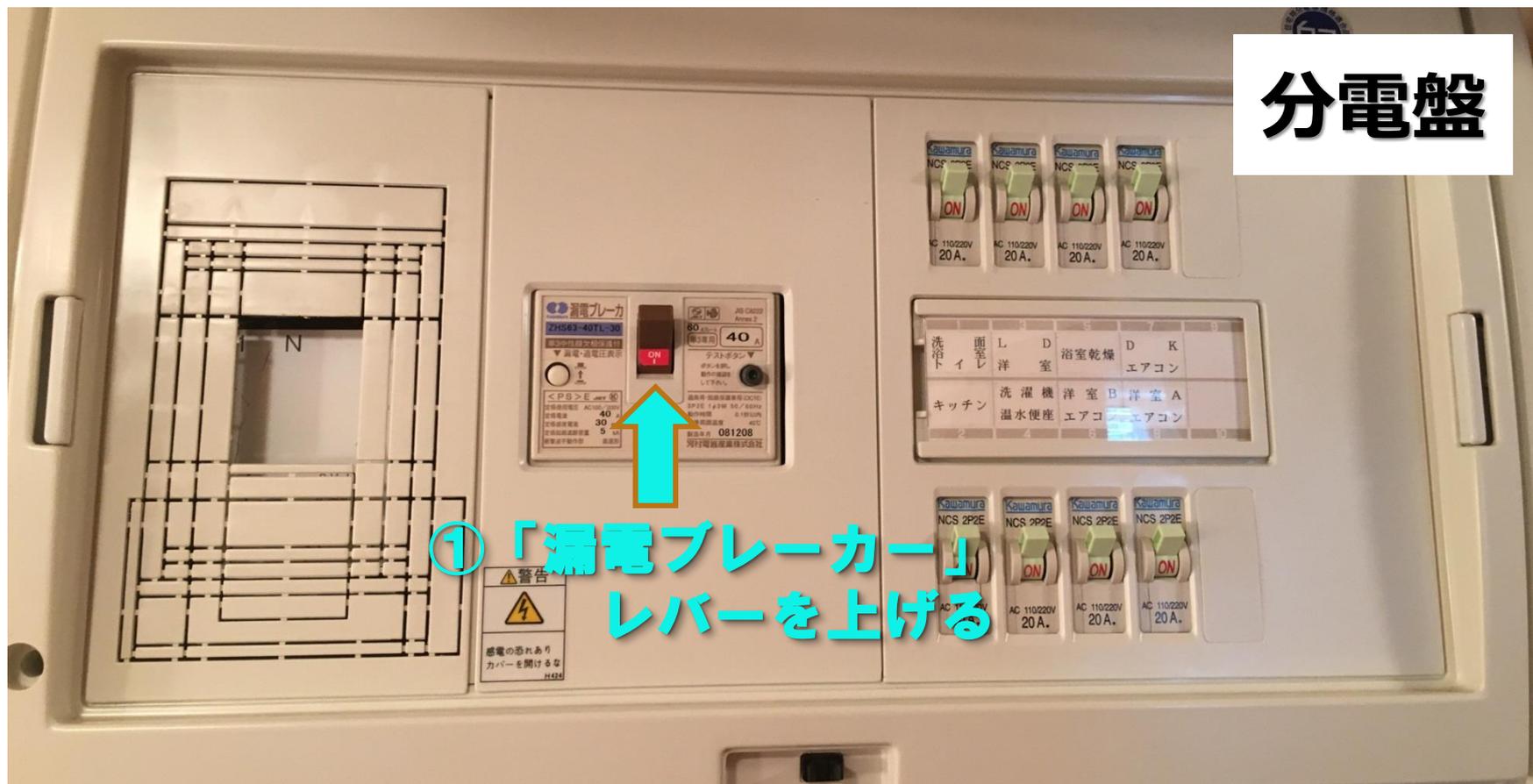
- 2秒以上長押ししてもブレーカーが落ちない場合、コンセントの差し込み向きを確認



# 可動のテスト

## 2. 復旧する

### ①分電盤の「漏電ブレーカー」を上げる

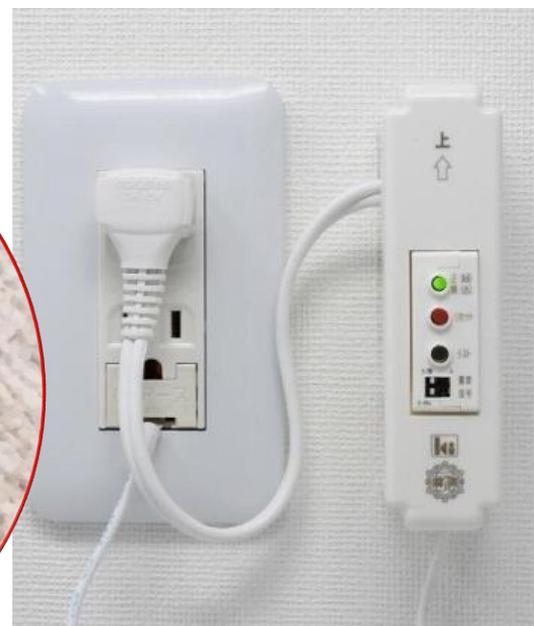
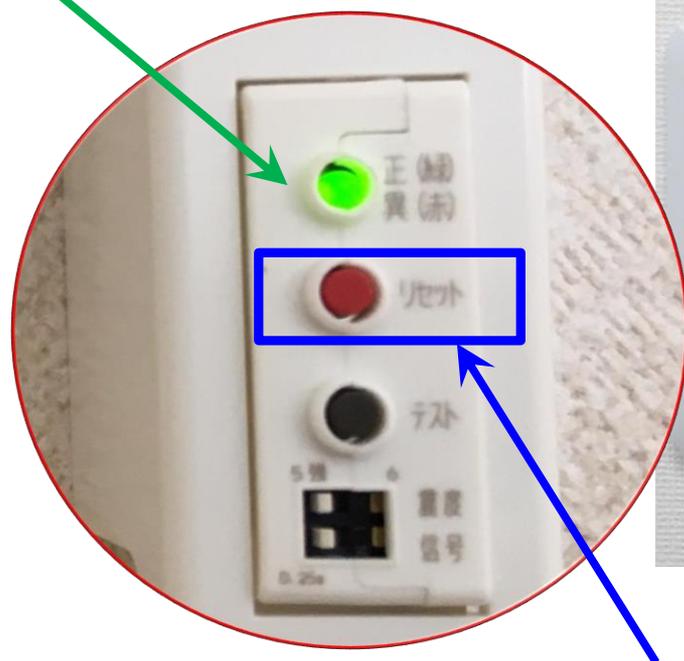


# 可動のテスト

## 2. 復旧する

② 「k i 感震センサー」正常に作動しているか確認

⇒ 「**緑色**」ランプが点灯しているか確認する



※ 「緑色」ランプが点灯しない場合、「**リセット**」ボタンを押す